

藤戸クリニック便り

令和7年1月

New Year Greetings
2025

新年のご挨拶



院長 平尾 健一

明けましておめでとうございます。

皆さまにはさわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は年明け早々に能登地震がありました。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興を願っております。他にも衆院選で与党が惨敗、アメリカでは政権交代と、世界中でめまぐるしい変化が続き、今後どうなるのだろうという不安や期待が交錯したまま新たな年が始まりました。医療・福祉分野でも昨年4月

の診療報酬改定でなかなか厳しい状況になっています。このような社会情勢の中ではありますが、『高齢者にやさしい医療をめざす』という基本理念を胸に、職員一同精進してまいる所存です。

今年は「巳年」。蛇は神様のお使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされています。再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年と言われます。我々も、時代に応じた柔軟な対応を図って地域医療に貢献していこうと思います。

本年も皆さまにとって健康で充実した1年になりますよう祈願しております。



副院長 古川 丈文

新年おめでとうございます。

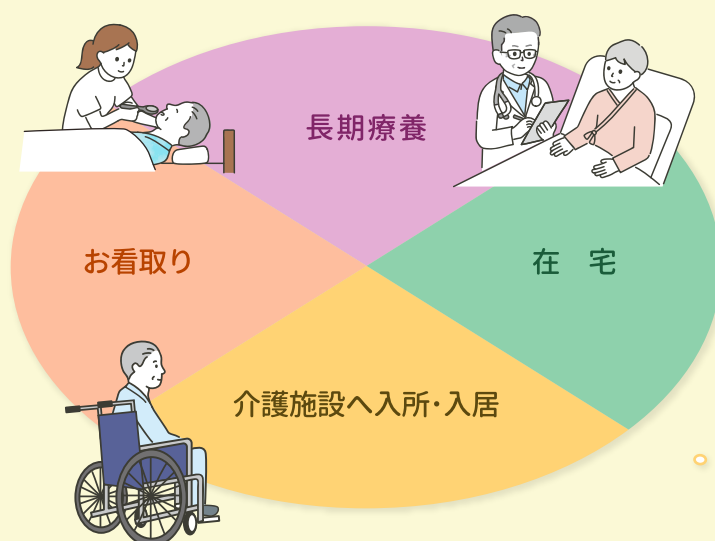
皆さまにおかれましては健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、一昨年に新型コロナウイルス感染症が5類へ変更となり、感染対策意識がずいぶん希薄になったように感じます。しかしながら、今後も個人個人が感染予防を心がけることが大切です。感染症だけでなく、健康に対する意識は年々高まる傾向にあります。近頃はスローライフを充実させるために生活習慣を見直す人が増えているそうです。

スローライフとは、一日中ゆったり過ごすという意味ではなく、仕事や家事などのやるべきことはスピーディーにこなして自分のための時間を作り出し、その時間をゆったり自分のペースで過ごし心の余裕を楽しむこと。皆さまが健康に関心を持って心身ともに豊かな生活が送れるよう、我々も医療面からサポートしてまいります。

皆さまにとって実りある幸多き一年でありますようお祈り申し上げます。

入院後の行き先について



家族との時間を
作りたい…

身体機能が落ちてしまった。
介護保険の利用を見直したい…

家に帰って
また頑張りたい…

超高齢化社会となり、健康促進をしつつも病気と闘わざるを得ない患者様も少なくありません。急性期での治療を終え、今後の治療の継続や療養について方向性や意思決定を改めて考える機会が必要な方も多くいらっしゃいます。ベッド数 19 床の有床診療所ですが、入居検討のための待機や、医療ケアが日常生活で必要不可欠となり介護医療院や長期療養先を検討するために当クリニックへ転院（入院）される方も増えています。

転院（入院）後には、改めてご本人や家族の意向を聞き取りながら入所・入居先への引継ぎなど関係機関への情報提供を行っていきます。

また、不安やわからないことを一緒に考え、安心した療養生活のサポートをしてまいります。担当ケアマネージャーさんがいらっしゃる場合でも、ADL 機能の維持や退院後のケアプランへの課題やケアの必要性などのお悩みについても相談を受けながら、より良いケアに繋がられるよう支援いたします。

わからないこと、入院中の相談がありましたら、ご遠慮なくスタッフにお尋ねください。

在宅療養支援診療所 有床診療所

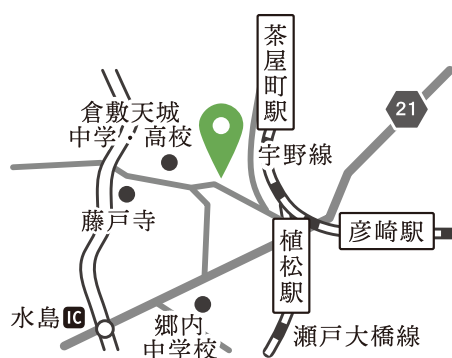
医療法人福寿会
藤戸クリニック

【アクセス】

〒710-0133
岡山県倉敷市藤戸町藤戸 1573-1

TEL : 086-428-8572

FAX : 086-428-5933



訪問看護・訪問リハビリ・入院の
ご相談は【連携担当】
平尾・川上・甲斐まで

ホームページはこちらから
<http://www.fukujyu.or.jp/fujitocl/>

